第100回全国高等学校野球選手権山口県予選

憧れの甲子園を目指して

第百回全国高等学校野球選手権山口県予選会が、七月十三日（金）から行われ、本校は津田恒美メモリアルスタジアムで翌日の第二試合、新南陽戦から試合が始まりました。

一回戦は、三回に五点を先制して、試合を有利に進めていましたが、七回、八回に得点され一時は一点差とされていましたが、しかし続くピンチを二塁牽制のタッチアウトで切り抜けると、八回に追加点をあげ勝つことができました。二回戦は七月十八日に、同会場で下松高校と対戦しました。リードを許してはいましたが、最後は八、九回に得点されてしまい敗れてしまいました。選手たちにとって納得のいく結果では、無かったかもしれませんが、最終回の攻撃でも一打逆転とまいきらめない姿勢を貫きました。

この大会のために、日差しの照り付ける猛暑の中、応援団や吹奏楽部をはじめ、多くの生徒が、盛り上げようと準備をしてきました。大会は連日、保護者や本校の卒業生が多数応援に駆けつけてくれ、大きな力を与えてくれました。ありがとうございました。

生徒会新聞
『REVERB
～リヴァーブ～』
７・８
９月号
平成30年9月25日発行
柳井学園高等学校
生徒会
E-mail
gakuen@yanai-g.ed.jp

体育祭

最後まで優勝目指して戦いました

九月十日（月）に待ちに待った体育祭が、時折涼しい秋風の吹く中で行われました。土曜日と日曜日は天候に恵まれず、二日間の延期で保護者の方の数は例年に比べると少なかったですが生徒は一つひとつの種目に全力で取り組み本気と本気のぶつかった見ごたえのある体育祭になりました。

今年の体育祭の運営も生徒会が中心となって行い、競技内容やネーミング、競技中の音楽も生徒のアイデアをまとめたユニークなものになりました。

今年度は、各隊とも最初から最後まで接戦で最後に男子の隊別リレーを制した青龍隊が他の二隊を振り切って優勝しました。三年男子が跳び箱を跳ぶ姿や、全学年男子による綱引きは特に会場から大きな声援を受けていました。各隊が頑張りを見せ、全員が楽しむことのできた体育祭となりました。来年も協力して盛り上げましょう。

クラスマッチ

チーム一丸となり優勝を目指しました

毎年大盛り上がりのクラスマッチが、今年も六月十五日（金）に行われました。今年は生徒会でより多くの生徒が楽しかったと思えるクラスマッチとなるよう事前に競技種目のアンケートを実施しましたが、結果的には例年通り男子がソフトボール、女子がバレーボールとなりました。来年度以降も、アンケートを実施し、結果次第では競技の変更を行っていきたいと思います。

当日は、非常に暑い中での実施になりましたが、生徒は元気溢れるプレーで躍動していました。特に三年生の活躍が目立つ大会で、バレーボールはA三年・G三年一二組女子の混合チームが、ソフトボールのAブロックはG三ー二の男子、BブロックはG三ーーの男子が優勝しました。おめでとうございます。

球場周辺清掃ボランティア

地域交流の一環として清掃活動を行いました

七月十七日にビジコム柳井スタジアムで開催される全国高等学校野球選手権山口県予選会を前に、一・二年生が球場周辺の除草作業、三年生が市内の清掃活動を行いました。

暑い中での活動でしたが、生徒は積極的に活動し大会を気持ちのいい形で迎えることができました。

※普通科アドバンストコースをA、普通科グローバルコースをG、普通科ビジネスコースをB、衛生看護科をNと略しているところがあります。